



申22号

2022年度賃金引き上げ等

満額回答を求めろ！

第2回団体交渉を行う！④



定昇カットで年収減の上に物価上昇で生活は厳しい！満額回答を！



これが組合員の生活実感の声だ！

◆今年1月の「消費者物価指数」の報告によると、食料品では、生鮮魚介 11.4%、生鮮果物 11.9%、光熱費等では電気代 15.9%、ガス代 13.2%、灯油 33.4%、ガソリン 22.0%増などにより、**私たちの生活は厳しい現状**。◆原油価格が高騰し、電気料金の値上げにもつながっている。◆JR 健保の保険料の値上げによって、標準報酬額 30 万円の人は毎月1500円の値上げになる。◆「食費・学費・コロナ対策費の増加」「将来への貯蓄をしたいが貯金を切り崩している」「塾や習い事の費用が払えない」「生活保護を試算してみたら、今の手取りより生活保護でもらえる額の方が多し」「子どもの成長と共にお金がかかる」「物価上昇に対して対価が上がっていない」「入社数年経っても入社2年目の年収とほぼ同じ」「エルダー組合員で退職金を切り崩している」「ローンが払えなくなる」「社宅の関係があつて持ち家を検討しているが購入できない」「不動産価格指数を見ると2010年度を100として、令和3年11月分として全国で124という指数となり、住宅が高くなっている」「学校外活動として、学習塾や家庭教師、参考書の購入、スポーツ教室などお金がかかる。学年別では、小6と中3、高3の学習補助費の金額が増えているデータが出ている」「ガソリン、灯油、ガス、電気料金の値上げなど光熱費が値上げしている」など多くの声が寄せられている。◆**生活が安定しているからこそ安心して働ける環境になる。**

【会社の主張】物価上昇も考慮する要素の一つとするが、それだけで賃上げとはならない。会社としても安定して利益を生み出し現状を打破して、成果を還元できる好循環をつくり出していきたい。



賃金がモチベーションアップの最大の要素だ！満額回答を強く求めろ！

◆今後も様々な施策を担っていくことになる。**今も施策に対し真正面から向き合っている**。◆社員の成長を会社は求めるが、賃金が上がらないため、モチベーションが向上しない、将来が不安でモチベーションが上がらない、頑張っても年収が落ちている。◆好循環をつくり出すために変化しようと気持ちを向上させようとしているなかで賃金の向上は大切である。昨年は定昇2という現実を突きつけられ、夏季手当、年末手当も厳しい現実の中、モチベーションを向上することは困難ではないか。いつまで我慢すれば良いのかとの多くの声があり、**今こそ満額回答をしてモチベーションを向上させるべきだ！**◆青年部としてのアンケートや対話で「JR東日本に魅力を感じない」と答えた若手は 91%。最たる理由は「労働の量に見合っていない低い賃金だ」と当社の賃金水準が低いと感じ、魅力を感じないというのが実態だ。◆賃金はモチベーションアップ最大の要素だ！世間一般の水準を述べるのではなく若手の実態に向き合うべきだ！

【会社の主張】モチベーション向上の要素として賃金引き上げがあることは認識するが、本人の成長の実感などもモチベーション向上につながる。社員の意欲や能力が発揮できるように、安心して働ける環境を整えてきた。通勤手当や休暇・休職の充実など、様々な処遇改善をしてきた。変革 2027 を実現し、企業が成長して成果を還元できる好循環を引き続きつくり出していきたい。魅力ある会社にしていきたい。そして企業が発展して社員へ還元していきたい。